

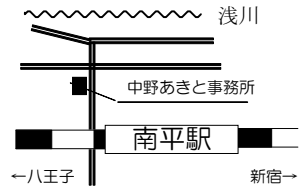


日本共産党市議会議員
中野あきと

みどりと清流



中野あきと事務所ニュース 発行責任者 小山敏正
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350)



生活相談など
お気軽に
お立ち寄り下さい
中野あきと事務所

<https://midoritoseiryu.skr.jp>

中野あきとさんからながせ真由美さんへ

「みどりと清流」の
読者の皆さま、はじめまして

ながせ真由美

私は福島県伊達市で生まれ育ちました。歴史が好きで、大学では美術史を学びました。

就職氷河期世代で希望する職に就けず、非正規で働き続けた経験があります。シングルマザーで子どもを育て、大学の学費を払う大変さも痛感しています。

共産党には「なぜこんなに自分らしく生きることが大変なのだろう」と考えていた時に、ジェンダー平等を掲げている党であることを知り、入党しました。この党で、「誰もが安心して学ぶことができる、そして、自分らしく生きられる社会」をめざし頑張ります。

今、物価が上がり、「年金だけで暮らせない」「国民健康保険税が高い」、「家賃が高い」、「公共交通が少なく外出が大変」という切実なお話を聞きます。

私はこの日々の暮らしの大変さを政治の力で少しでも軽くしたい。その思いで、中野あきと市議からしっかりバトンを受け取り、皆さんの声を市政に届け続けるために全力を尽くします。

そしてこの地域には、「緑と清流のまち」と言われるだけの素晴らしい環境があります。この環境を守り、安心して暮らせる地域をつくらせていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

ながせさんへのお力添えを

私はこれから日本共産党の専任職員として、ご期待に応えられるよう全力でがんばります

中野あきと

7期27年、四半世紀を越えてお力添えいただき、市議会議員を務めさせていただいてまいりましたが、今期をもって引退させていた

『みどりと清流』事務所ニュースをお読みいただいている皆様にごより感謝申し上げます。
引退後は、日本共産党の専任職員として、党派を超えて寄せられている政治への思い、日本共産党への注文や期待の声に応えられるよう、全力でがんばりたいと思っています。また、市民の暮らしをしっかりと応援する市政へ、新たな党市議団とともに取り組んでまいります。

る、ながせ真由美さんをはじめ4人の新しい党市議団を実現させたいと思っています。
問題意識旺盛、本好きで勉強熱心なながせ真由美さん。市長選でも、都議選、参院選でも、高幡不動駅前などで、いつも笑顔で元気に、「らしく」訴えていたながせ真由美さんに、「この人こそ」と思っ

私に倍するお力添えをよろしく
お願いいたします。



1977年生まれ。福島県伊達市出身。実践女子大学 文学部 美術美術史学科卒。日野キャンパスで学生時代を送る。氷河期世代で、女子の就職率が底をうった年に非正規社員で社会に出る。2022年 ジェンダー平等を綱領に掲げている日本共産党入党。

南平4丁目の「禅寺丸公園」



「ミニバス「北野街道循環」路線に「禅寺丸公園」というバス停があります。「その公園はどこにあるの」と、バス利用者から聞かれたこともありました。同公園はバス停近くの南平4丁目3の10にある小さな公園です。完成したときに「禅寺丸」という種類の柿の木が植えられました。



この柿は昔、この辺の農家の庭に植わっていたそうです。

短信

南平4丁目の「禅寺丸公園」の一角は梨畑でした。90年代の半ばに宅地化され、今は転居で離れた筆者もその時代に移住しました▼子どもの遊び場がなく、孫たちは街道を横断して夏休みのラジオ体操に参加していました。近くの空き地が市有地ではという話を聞き、初

当選したばかりの中野あきと市議に相談しました▼調べてもらうと確かに市有地。だが売却予定とのこと。早速お母さんたちが署名を集め、ご近所の協力も得て数百筆の請願署名を市議会に提出。公園が実現しました▼高幡橋南詰交差点から、鹿島台に上がる急坂の中ほどにある信号機付の横断歩道。見通しも悪く通学路でもあり危険という声が上がリ、同じように請願署名を提出し実現しました▼よく市政は関心が低いと言われます。しかし一番身近な政治が市政です。今、全市民を対象に配布中の共産党日野市議団の「市民要求アンケート」。物価高騰に苦しむ声、介護や医療への不安など、停滞する政治の中で返信が続々寄せられています▼日野市政は破綻した「財政非常事態宣言」を3度も発動。「お金がない」と言って、相次いで国保税を値上げし、サービス切り下げを断行しました▼巨大データセンター建設で、日野のまちづくりも危機に瀕しています。来年2月は市議会議員選挙。市政をめぐる不正問題を監視するのも市議会です。日野市民の審判がよいよい大事です。(K)

いま、市政はどうなっているのか 2024年度決算審査から見えたこと

物価高騰が止まらず、市民の暮らしが大変になっている中で市議会の決算審査が行われました。
市民の暮らしの現状への認識、切実な要求と課題、「財政非常事態宣言」の問題まで調査に基づき徹底論戦し、問題点を明らかにしました。
以下、決算に対する反対討論の一部を紹介いたします。

無策な市独自の 物価高騰対策

「財政非常事態宣言」の弊害は重大

日本共産党市議団を代表し、24年度一般会計決算に不認定、反対の立場から意見を述べます。24年度も物価高騰が市民の暮らしと営業を直撃した年となりました。

日野市が年度末にかけて行った市民意識調査でも、物価高で支出が増えたとの答えが8割に及び、買い物を始め水光熱費の使用量を減らす行動に及んでいるなど、多くの家計が苦しくなっていることが明確に示されました。こうした市民の暮らし・営業を支えるのが、何より政治の役割、国政、都政、市政の役割のはずです。

それだけにとどまりません。市はこの物価高で市民の暮らし・営業が大変になっている中、「財政非常事態宣言」を発出し続けました。コロナ禍そして空前の物価高で、暮らし・営業が苦しく、先々への不安が広がっている中で、市民に対し、市にはお金がない、財政が大変だから市には頼るな、我慢しろというメッセージを発信し続けてしまったわけです。

「宣言」そのものの 正当性も問われる 事態

厳しいものにしたこの「宣言」の弊害は、あまりに大きく重大であると言わざるを得ません。

市は8月28日、ようやくこの「財政非常事態宣言」の解除を発表、決算質疑の中でその根拠・理由について説明がなされました。財政非常事態宣言解除の4つの指標のうち2つは達成されていないが、財政調整基金が過去最高の61億円の黒字となっていること、決算段階で大きな赤字となっている状況は、予算編成段階での歳入・歳出の見積もり方に課題があることを示している旨の説明がありました。

しかし、これらの宣言解除の説明は、そもそも予算編成段階での財源不足を根拠にした財政非常事態宣言発出に、また、4つの指標に基づいて5年間に及び宣言を継続し続けたこと、そもそも正当性・妥当性があつたのかを逆に問うものとなっています。

市長には「宣言」が、市民の暮らしに、地域経済に、そして職員体制に、もたらしてきたあまりに大きな弊害を直視し、「宣言」発出そのものの正当性を含め、全面的な総括・検証を求めるものであります。

変貌 川辺堀之内の今昔



16年前の2009年の撮影です。
この頃から川辺堀之内の区画整理が計画されていました。田んぼが夷り、すばらしい風景でした。こんなりした小さな森もありました。

1枚目の写真とほぼ同じ場所です。28道路路が工事中。一部完成して自動車も通っています。無惨な風景です。もう田んぼは1枚もありません。畑が少し残っています。

＼待望の電子版がスタート！／

しんぶん 赤旗 日曜版

電子版 990円

スクープで
社会を動かす。

日本共産党

【無料法律相談日】2025年 12月

■ 4日（木）午後6時～8時
中野あきと事務所

■ 11日（木）午後1時～3時
市役所6階共産党控室

（申し込み）わたなべ三枝・清水とし子事務所
04215821042

《連載》不正問題を2度と繰り返さないために

市政で起こったこと、そしてこれから [第11回] 最終局面に入った川辺堀之内区画整理事業③ 中野あきと

最後に、委員会審査を通じて明らかになった事実や、なお不明な問題を含め、不正の本丸と言える河内久男元副市長を参考人として招致しようと提案しました。違法かどうかという問題にとどまらず、行政の信義則やルールを毀損し、市民をはじめ職員に与えた影響は重大で、委員会の総意として招致することを求めたのです。

これに対し「よくわかるが、目的は第三者委員会や市の報告書を評価することだ」「招致となれば予算が必要だ。もっと早く言ってくれば賛成できた」などとしながら、自民、公明、チームみらい（大企業系）がこぞって反対し、招致には至りませんでした。

傍聴やネット中継を見ていた市民の方々からは「ここまできて、どうして？」「何を恐れているのか？」と怒りの声が寄せられました。以下、反対の主な理由です。

◆公明党の反対意見

- ・特別委員会設置の目的・趣旨とは異なる。
- ・刑事事件となった元副市長の招致は慎重でなければならない。
- ・招致予算をかけるにたる効果があるのか

◆チームみらいの反対意見

- ・市などが調査をして出した報告書を尊重すべき
- ・元副市長を招致する必要性は感じられない。

※自民党会派は意見なく反対しました。

